

# 富山県がん診療地域連携拠点病院としての取組み

病院名：高岡市民病院

## 1 当院の特徴的な取組み

当院は、女性のがんに対する診療に強みを有しています。高岡医療圏内では唯一である婦人科腫瘍専門医や日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医などの婦人科系専門医を多く配置しており、卵巣がんや子宮がんの診療を得意としています。

また、近年増加傾向にある乳がんに対しては、乳腺専門医や、乳がん看護認定看護師、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師などの専門スタッフによるチーム医療で、検診・早期診断・乳房再建術まで対応しており、乳がん患者会（ハッピーリボン）も活動しています。

このほか、圏域内では唯一である遺伝性乳がん・卵巣がんカウンセリング外来を有し、遺伝的な要因により発症するがんに対するリスク評価ができる体制を整えています。

一方、当院は、認知症疾患医療センターと精神科病棟を併せ持つ県内唯一の病院としての特徴も有しています。認知症疾患医療センターでは、出前講座を行い、市民に認知症への理解を深めてもらうとともに、認知症を伴うがん患者について、安心して受診してもらえるよう情報発信を行っています。

また、認知症を伴う患者に対しては、神経内科専門医等からなる認知症ケアチームを組織し、症状レベルの確認やQOL向上のためのアドバイスなどの対応を行っています。また、精神科専門医による重篤な精神疾患を有するがん患者への対応ができる体制を整えています。

## 2 今後の取組み

当院はこれまで、緩和ケア病棟の開設、包括的がん医療センターの設置、外来化学療法室の移転拡充、放射線治療装置（リニアック）や、内視鏡下手術支援ロボット（ダヴィンチ）の導入、令和3年2月には最新鋭のマンモグラフィを導入し、予防から集学的治療、緩和ケアまで切れ目ないがん診療体制を構築してまいりました。

また、令和2年4月に専従の放射線治療の常勤医師の配置、6月にがん薬物療法専門医を配置するなど、診療実績の向上にも努めています。

今後は地域連携をより一層強化することによって、紹介がん患者の獲得に努めるほか、「富山県がん診療地域連携拠点病院」として、高岡医療圏内の国指定病院、県指定病院、地域の診療所との連携協力を図りながら、当院の特徴を踏まえたがん診療体制をさらに機能強化し、地域住民が安心して質の高いがん診療を受けられる地域完結型医療の実現を目指してまいります。